

秀明大学 2023年度高大接続講座シラバス

開講日	2023年12月23日(土)
講座テーマ	産後のお母さんへの子育て支援 —新生児の抱き方、授乳の仕方を体験してみよう！
担当教員名	代表教員：美濃口真由美 三隅順子、茅島江子、東亜紀、片桐いずみ
講座の概要	産後のお母さんのからだを理解し、産後早期の子育て支援を考えることを目的とする。産後早期のお母さんの身体は、およそ6～8週間かけて回復していく一方、乳汁が産生され母乳育児がはじまる。つまり、産後早期のお母さんは、身体の回復過程にありながら育児をする特別な時期にあり、心身ともに負担が大きいことから適切な支援が重要である。 講義1では、産後のお母さんの身体を理解して、母子に安全で安楽な新生児の抱き方、授乳の仕方を体験学習する。講義2では、産後早期の子育て支援についてグループでディスカッションする。母性看護学の教員は、生徒の主体的な学びを支援し、体験学習、グループワークを通して、母性看護学に興味関心がもてるように支援する。
講座の到達目標	産後のお母さんのからだを理解し、産後早期の子育て支援を考えることができる。また、講座を通して、母性看護学に興味関心がもてる。
テキスト・授業資料	授業資料は必要に応じて講座内で配布します。 事前に送付する課題を完成させて持参してください。
事前課題の概要	1. 出産してから産後1ヵ月までの子育てについて、お母さんの気持ち（うれしかったこと、幸せだと感じること、つらかったこと、悩んだことなど）を調べてみましょう。 調べ方の例： 1) インタビュー：お母さんなど出産経験のある女性に聞いてみる。 2) SNS、ブログ、インターネットを活用して調べる。 (受講申込完了後、講座の2週間前を目途に大学から事前課題を送付します。)
事後課題の概要	産後早期の子育て支援について、学んだこと、考えたこと、授業を受講した感想などをA4 レポート用紙 1～2枚程度にまとめる。 (講座終了後2週間以内に返送してください。)
評価	事後課題を確認・評価し、修了証を送付します。